



ファッションショーを終えて

ずっと憧れていたファッションショーを終えて、今一番思うことは、

「服飾デザイン科に入って本当に良かった」ということです。

私は小さい頃から物を作ることが大好きで、人に褒められるようなものは手先の器用さしかなかったくらい、他に取り柄がない地味な子でした。そんな自分が嫌いで、少し中学校の頃は悩んでいました。しかし、中学三年生の時、佐倉東のファッションショーで見た先輩達がキラキラしていて、私は「これだ！」と強く感じました。実際にファッションショーを経験してみて、服を作るのも大変ですが、ウォーキングなどの準備も大変で、歴代の先輩達はこんなに頑張っていたのだな、と思いました。大変でしたが、たくさん話し合っ、練習して、笑ったり泣いたり、とても良い思い出が出来ました。特に話し合いでは、今まで思うことがあっても発言しないで人任せにしてしまうことが多かったのですが、今回の経験で自分の案を伝えることができるようになりました！テーマ作品や自由作品で、少し自分の案が通ったり、ワンピースや編み物の曲を私が選んだ曲にしてもらえたのが、嬉しかったです！！

小さい頃の自分に、このファッションショーを見せて、「苦手なことばかりでも、一つ得意なことがあれば、こんなに輝けるし、成長もできるよ！」と伝えてあげたいです。

